

自閉症児の親ら支援へ

いの町の元教員ら 英資格取得し開講



高知市「ソール」 来月2日に説明会

自閉症の子どもの家族や教員ら支援者を支える、イギリス自閉症協会のプログラム「アーリーバードプラス」。その実施資格を吾川郡いの町の元教員、久武夕希子さん(62)ら県内在住の4人が取得した。家族らが集まって子どもの行動を分析し、よりよいコミュニケーション方法などに気付く約3カ月のプログラムで、今春から高知市で進めていく。

(塚地和久)

「アーリー」は同 進行役となる。

協会が15年以上前に開 発したプログラム。基 本的に4〜9歳児の家 族2人と支援者1人が 1チームとなり、3〜

といった効果が得られ る。

6チームで2時間半グ ループセッションを行 う。資格を取得した4 人がこのセッションの 者らとの関係の緊密化

久武さんは高知大付 属特別支援学校などで 勤務し、2012年、

終了3カ月後のフォロ ーアップで個別支援も 行う。家族の孤立感解 消、ほかの家族や支援 者らとの関係の緊密化

自宅を事務局に発達障 害児・者とその家族ら を支援する団体「T.O.M.O.はうす」を設立。 昨秋、外部講師として

アーリーバードプラスの 説明会に向け、準備を進 める久武夕希子さん(右 端)ら(いの町の久武さ んの自宅)……………

協力してくれている元 教員や言語聴覚士ら3 人と渡英し、3日間の 研修を受けて資格を取 った。

世界では約150団体が 取得。日本では東京都 の児童精神科診療所が 持っているだけで、久 武さんらが2団体目にな る。

教員時代から行動分 析や、取るべき行動を 絵で示す「視覚支援」 などを学んできた久武 さん。「事前に『このプ ログラムは家族を元気 にする』と聞いていた のが、取得の動機。さ らに現地で『教え込ま ないこと、家族がこれ ならできそう、できた /と実感できることが 大切』と言われ、衝撃 を受けた。高知でもそ んなプログラムを広め ていけたら」と話して いる。

プログラムは5月11 日からスタート。その 前に無料説明会を3月 2日午前9時半から11 時まで、高知市旭町3 丁目の男女共同参画セ ンター「ソール」で開 く。定員50人。

申し込み、問い合わせは久武さん(電話0 90・7786・74 72、またはメールso uthouse2012@gmail .com)へ。